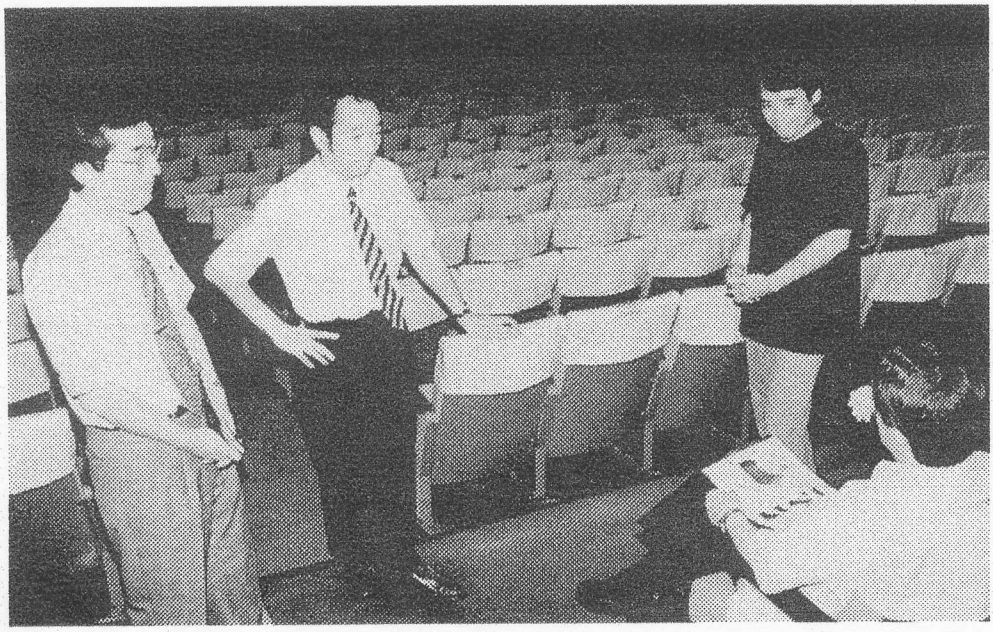
初の試み 体感音響システムとり入れて

ハートフルコンサート

9月13日(日) 13時～ 川口市民会館

障害のある人もない人も、また、子どもからお年寄りまでの誰でもが参加できて楽しめる…そんな願いをもって始めたハートフルコンサート。聴覚障害者のために、音を振動に変えて体でリズムを感じとることができる〝体感音響システム〟（ボディソニック）付きの椅子を用意。この機材を使うことで、耳の不自由な人もみんなと一緒に手拍子を送ることもでき、音楽会を堪能できます。川口市では初めての試みとなるこのコンサートに期待が寄せられています。



コンサートが開かれる川口市民会館で打合せをするスタッフ

川口市民コンサート実行委員会（東海林明会長）が主催するハートフルコンサートは今年の1月15日、大雪の中で第1回目を開催。その後もアンコール公演の問い合わせがあり、第2回目の今回は、パイオニア㈱のボランティア〝身体で聴こう音楽会〟の協力で、会場内の前列部分の椅子に聴覚障害者のための体感音響システム（ボディソニック）を設置します。

これは元々、〝音楽は身体で楽しむ〟の考えの下に健常者用に開発されたもので、頭が当たる部分にスピーカー、背中からはリズムが伝わる『音のクッション』として、夜中など静かな環境の中、周りに迷惑をかけないで使用できると重宝されていました。

そこで、音を体感できるこのシステムを難聴者にも利用できるようにと、一部改造してできたのが今回使用するボディソニック。

客席の背もたれに設置したこのボディソニックからは、音を振動にして伝え、クッションから響く低音部の振動が声のアクセントとなって音楽（リズム）を身体で感じとることができるため、聴覚障害者も健常者と一緒に楽しむことができます。県内では、障害者交流センターで使用されたのが最初で、川口市では初めての開催となります。

出演は、中南米民族音楽を演奏する『フォルクローレ・コンティーゴ』、スタンダードジャズを専門とする『ニュー・ノーツ』、『みっくすとめだかふぁみりーの仲間たち』『錦太鼓』、幼稚園から小学生までの『チビッコ・ジャズダンス』。

『川口手話サークル友の会』の指導で、手話コーラスも体験できます。「お客様も出演・演出するみんなが一つになって楽しめるコンサートになります。期待してください」と東海林会長。

「体感音響システムが付く初めてのコンサートですから、聴覚障害者の方には感動を味わってもらいたい」と海老原十九三川口市民会館々長は話します。

※ボディソニック使用は数に制限があるため予約制となります。ご希望の方は、〒住所・氏名・年齢・☎を書いてFAX251・9545または、はがきで〒332-0016川口市幸町1の6の18川口市民会館『ボディソニック』係宛お送りください。

問合せ＝☎251・9543